

- ◆日時：2023年2月12日（日） 10:00~12:00
- ◆会場：十日市場地区センター 2階中会議室
- ◆参加：池田、片上、片山、佐々木、田中、中里、山下、樋口（8名）
ゲスト：講師知人 高鹿様、山田様 ◆欠席：早川、松崎、吉開、中島、三浦

- 講演会：「ユスフ大佐の防災・応災・減災セミナー 応災力を高めよう」
講師：萩原洋聡さん（元海上自衛隊八戸航空基地隊司令 一等海佐）



- 何故「ユスフ」になった
ジブチ国滞在中現地の子供からあなたの名前は
この国ではユスフと読まれますとの事
本人大変お気に入りの様子
- 東日本大震災「災害は忘れなくてもやってくる！」
八戸で機動施設隊司令として執務中に遭遇した地震
と津波、そして災害対処・災害派遣業務に従事した
八戸航空隊のモットー「明るく元気に、おいしく！」

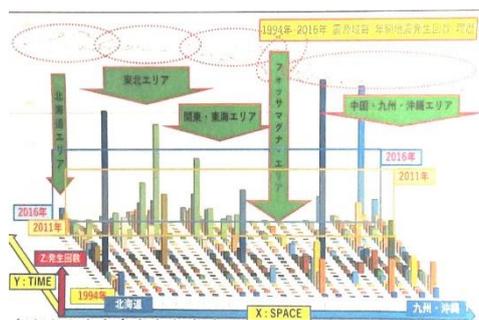
1. 「自己紹介から見えてくる人となり」

- ・防衛大学を目指したきっかけは高校2年生の時、第1次南極越冬隊長西堀さんの講演を聞いて海上自衛隊に入隊すれば世界中を航海出来ると考えた。
（南極にも行ける、祖父のいるアメリカにも行ける）
- ・ジブチ共和国での体験：海賊に対処する、新しい活動拠点を築く、住環境を整備、現地人との信頼関係は時間を要したが、大変良好な関係を持つことができた。



2. 「防災⇔応災⇔減災 応災力を高めよう～かけがえのない命と我が町を守るために～

- ・過去21年間の地震発生状況を地域別・時系列に整理、震災直後の被害を最小限に抑えるため「防災」と「減災」をつなぐ「応災」という概念を考察し提唱する活動を行っている。
- ・日本の震度分布が20数年間分記載された年表（畳4~5枚分？）緻密な作業を感じると共に震源予測、応災力向上につながるものと思われる。



●主な防災グッズ

- ・焚火で充電してスマホ等の充電，ランタンとして使用可能。
- ・教育資材：オルゴールのテープが日本の地震発生時期、震度聴覚で感じる。

●感想

- ・総体感想：ユニークな発想。話も短く、面白かった。
- ・地震の地域別時系列でオルゴールの音をつづったように表現。5mほどの紙に展開。
- ・機材が面白い一火をともし、水のろ過装置、テントはじめリュック一杯の防災品
- ・アマチュア無線活動に西堀越冬隊長の冊子を読んで大きな影響をうけた

●報告事項

- ・池田さん：備六会という団体の20年誌作成中、団体名変更予定。
- ・山下さん：まち普請事業で建設された「ぷらっと kiricafe」2/12TVKにて発表される。

以上

今回の定例会：3/12（日）10時~12時 十日市場地区センター 2階 小会議室 A